
第 67 回数理社会学会大会 (JAMS67) プログラム (大会前暫定版)

日時：2019 年 3 月 7 日（木）～3 月 8 日（金）

会場：立命館大学衣笠キャンパス

大会委員長：金澤悠介（立命館大学）

1 参加費、懇親会費（セミナーの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

2 主なスケジュール

	時間	洋洋館 2 階 YY201	洋洋館 2 階 YY202	その他
3 月 6 日	15:00～17:00	セミナー		
3 月 7 日	09:30～11:15	第 1 部会	第 2 部会－1 第 2 部会－2	
	11:30～12:45	第 3 部会	第 4 部会	
	12:45～13:45			昼食休憩
	13:45～15:05			萌芽的セッション I (洋洋館 4 階 YY406 及び YY402)
	15:10～17:00	シンポジウム		
	17:10～18:10	総会		
	18:20～20:00			懇親会 (諒友館生協食堂)
3 月 8 日	09:20～10:40			萌芽的セッション II (洋洋館 4 階 YY406 及び YY402)
	10:45～12:25	第 5 部会	第 6 部会	

3 主な会場（洋洋館 2 階 YY201 及び YY202）

- 受付：洋洋館 2 階 YY203
- 会員控室・抜き刷り交換コーナー：洋洋館 4 階 YY413

4 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- 会場設置パソコンを利用できます（Windows10, Office2013）。持参パソコンの場合、HDMI または VGA ケーブル接続の Windows ノートパソコンが使用可能です（ケーブルは会場で用意します）。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）。
- 配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

5 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・1日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、懇親会の開始時間までには取り外しください。この時点で残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・2日目のポスターは当日の9時15分までに貼りつけていただき、後ほど取り外しください（閉会後でも結構です）。閉会後10分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大でA0（縦1189×横841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・部会開始5分前に集合してください。

6 問い合わせ先

研究事務局 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学法学部 竹ノ下弘久

E-mail: jams.research[at]gmail.com, Tel: 03-5427-1097

大会事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

立命館大学産業社会学部 金澤悠介（大会委員長）

E-mail: y-kanaza[at]fc.ritsumei.ac.jp, Tel: 075-466-3166（研究室直通）

3月 6 日 (水)

13:00～15:00	編集委員会	洋洋館 4 階 YY413
13:00～15:00	研究活動委員会	洋洋館 4 階 YY412
15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	洋洋館 2 階 YY201
17:15～19:00	理事会	洋洋館 4 階 YY411

3月 7 日 (木)

09:00	開場・受付	洋洋館 2 階 YY203
09:20	開会挨拶 大会委員長 金澤悠介	洋洋館 2 階 YY201
09:30～11:15	自由報告 I	

【第 1 部会】 学歴と職業の格差 司会 毛塚和宏 (東京工業大学)	洋洋館 2 階 YY201
---------------------------------------	---------------

1	合理的選択による進学格差の変動モデル ——相対リスク回避と教育拡大の関係の定式化——	濱本真一 (立教大学)
2	学歴間所得格差の構造と変容 ——1985-2015 年 SSM 調査データを用いた分析——	豊永耕平 (東京大学大学院)
3	A Comparative Study of Just Income Using Vignette Survey Data: Is Earnings Inequality Legitimized in Japan?	Shin Arita (University of Tokyo) Kikuko Nagayoshi (Tohoku University) Hiroyumi Taki (Hosei University) ○Hiroshi Kanbayashi (Tohoku Gakuin University) Hiroyuki Takenoshita (Keio University) Takashi Yoshida (Shizuoka University)
4	キャリアを通じてみる学歴と上層ホワイト到達の関係 ——専門職と管理職の異質性を考慮して——	○麦山亮太 (東京大学大学院) 豊永耕平 (東京大学大学院)

【第 2 部会-1】 数理モデルと理論 司会 TBD	洋洋館 2 階 YY202
-------------------------------	---------------

1	ニヒリズムの代数学	落合仁司 (同志社大学)
2	レギュラシオン理論の数理表現=解釈	堀田悠生 (同志社大学大学院)

休憩 5 分

【第2部会-2】理論と方法

司会 保田時男（関西大学）

洋洋館 2 階 YY202

1	「複雑系社会変革理論」の研究成果と社会実践との関わり	○嶋田一郎（東北大学） 小山富男（東北大学）
2	粘土細工アプローチの社会調査実習への適用 ——DCSS の活用事例——	羅一等（専修大学）

* * * * 休憩 (15 分) * * * *

11:30～12:45 自由報告Ⅱ

【第3部会】 会員発案の特別企画：嗜好品への計量社会学アプローチ

司会 小林盾（成蹊大学）

洋洋館 2 階 YY201

1	嗜好品と社会階層 ——嗜好品の種類ごとの違いに注目して——	橋爪裕人（公益財団法人たばこ総合研究センター）
2	嗜好品とソーシャル・キャピタル	大崎裕子（東京大学）
3	嗜好品とウェル・ビーイング	金井雅之（専修大学）

【第4部会】 数理モデルと実証—資産と戦略

司会 関口卓也（理化学研究所）

洋洋館 2 階 YY202

1	戦争が利他的社会をつくったのか? ——群間進化ゲームによる図解分析——	神山英紀（帝京大学）
2	変動資産売買による資産形成のトイモデル	○矢野良輔（東京海上リスクコンサルティング） 黒田久泰（愛媛大情報理工）
3	限定的な株式市場参加と参入コスト	井原悠至（同志社大学大学院）

* * * * 昼食休憩 (60 分) * * * *

13:45～15:05 萌芽的セッション（ポスター報告）I

洋洋館 4 階 YY406 及び YY402

1	女性が仕事を辞める理由の類型化の試み	池田岳大（東京大学大学院）
2	単純比較モデルによる収入評価分布の説明	石田淳（関西学院大学）
3	家族の範囲と世代間関係 ——実親・義親との関係を事例として——	乾順子（大阪経済法科大学）
4	再分配支持が投票参加に与える影響の分析	桑名祐樹（首都大学東京大学院）
5	不平等による社会的価値割引 ——統計モデリングによるアプローチ——	清水裕士（関西学院大学）
6	親の教育アスピレーションの階層差生成過程 ——合理的選択要因による媒介関係の検証——	須永大智（大阪大学大学院）
7	ポジション・ジェネレーターに関する構造特性の解明	鈴木伸生（岩手県立大学）

8	Organizational Effects on Working Hours: Inequality in Job quality	田上皓大（慶應義塾大学大学院）
9	専業主婦の特徴とその趨勢に関する検討 ——就業構造基本調査の個票データを用いて——	多喜弘文（法政大学）
10	独身成人子の親同居規定要因 ——パネル・データによる分析——	太郎丸 博（京都大学）
11	教養の入口としてのアニメから考えるオタクの文化資本の獲得について	○寺田怜加（日本大学） 菅野剛（日本大学）
12	大学入試科目の戦略的考察	西田喜平次（兵庫医療大学共通教育センター）
13	典型的な社会調査項目における級内相関の評価	前田忠彦（統計数理研究所）
14回	Long-term Trends of Employment Trajectories among Women around First Childbirth in Japan	麦山亮太（東京大学大学院）
15	オランダの社会経済的格差と住宅政策について	村上あかね（桃山学院大学）
16	若年女性の資格取得行動の促進要因 ——周辺的労働に関する短期パネル調査より——	山本耕平（京都大学）
17	政党支持のベイズ型コーホート分析 ——1985~2015年SSM調査を用いて——	○米田幸弘（和光大学） 松本雄大（大阪大学大学院）

* * * * 休憩（5分） * * * *

15:10～17:00 シンポジウム

洋洋館2階 YY201

* * * * 休憩（10分） * * * *

17:10～18:10 総会

洋洋館2階 YY201

* * * * 休憩・移動（10分） * * * *

18:20～20:00 懇親会

諒友館生協食堂

09:00 開場・受付

洋洋館2階 YY203

09:20～10:40 萌芽的セッション（ポスター報告）II

洋洋館4階 YY406 及び YY402

1	ナショナリズムと政治参加	伊藤理史（同志社大学）
2	パネルデータをもちいた親子の教育アスピレーションの分析	大崎裕子（東京大学）
3	多人数のキーワード・オーケションにおけるエッジワース・サイクルの発生機構の解明	○河又裕士（筑波大学大学院） 秋山英三（筑波大学）
4	火災が被災企業に及ぼす経済的影响の評価に関する分析	○佐藤遼次（東京海上日動リスクコンサルティング） 佐藤一郎（東京海上日動リスクコンサルティング） 水野貴之（国立情報学研究所）
5	「上書き（overwrite）」の社会学理論（1）	志田基与師（横浜国立大学）
6	大学中退から職業への移行	菅澤貴之（同志社大学学習支援・教育開発センター）
7	学歴・金融教育・金融リテラシーが行動バイアスに与える影響 ——「金融リテラシー調査（2016年）」を利用した分析——	鈴木明宏（山形大学） 高橋広雅（広島市立大学） ○竹本亨（帝塚山大学）
8	高齢者の属性と趣味活動の継続との関連に基づく趣味活動の分類	○関口卓也（理化学研究所） 大武美保子（理化学研究所） 近藤克則（千葉大学）
9	職場のワーク・ライフ・バランスが出生行動に及ぼす影響	田中茜（東京大学大学院）
10	離婚女性の生活満足度の二極化について	田中睦美（滋賀大学）
11	情報リテラシーの連続尺度化および通信不調原因帰属との関連性の検証	○塙常健太（KDDI総合研究所） 新井田統（KDDI総合研究所）
12	専門的・技術的職業従事者における技能と昇給の関係	仲修平（東京大学）
13	日本における中国・韓国に対する排外意識の規定要因と構造	○米良文花（成蹊大学大学院） 渡邊大輔（成蹊大学）
14	どのような不満が、若者の職業移動を促すのか？	吉岡洋介（千葉大学）
15	母親のパーソナルネットワークが学校外教育投資に与える影響	米田佑（東北大学）
16	親の離婚が子の結婚ハザードに及ぼす影響	渡辺泰正（東京大学大学院）

＊＊＊＊休憩（5分）＊＊＊＊

【第5部会】 職業
司会 中井美樹（立命館大学）

洋洋館 2 階 YY201

1 [E]	Who is Likely to Become a Family Employee in Japan? Using the SSM Survey Data of 2005 and 2015	Ichiro Hirao (Osaka University)
2	理美容師の志望者はどのような動機をもつのか	○森田厚（成蹊大学） 小林盾（成蹊大学） 川端健嗣（成蹊大学）
3	「だってキャバ嬢って楽に稼げる仕事ですから」 ——合理的選択理論によるキャバクラ嬢のインタビュー・データ分析 ——	小林盾（成蹊大学）
4	ウェブ調査の ISCO 職業大分類コーディング ——専修大学 SWB 日本調査データでの作業報告——	山本耕資（Hylab LLP・専修大学）

【第6部会】 社会関係資本と規範
司会 TBD

洋洋館 2 階 YY202

1[E]	Substitute or Complement? How Social Capital, Age and Socioeconomic Status Interacted to Impact Mortality in Japan's 3/11 Tsunami	○Maoxin Ye (Tohoku University) Daniel P. Aldrich (Northeastern University)
2	日本人における「信頼の範囲」の規定要因 ——JGSS 2012 データを用いた Fractional Logit Regression Model による検討——	鈴木伸生（岩手県立大学）
3	一般的信頼、近隣への信頼、信頼の範囲の比較	○小藪明生（早稲田大学） 今井晴彦（東邦大学） 稻葉陽二（日本大学） 高木大資（東京大学）
4	なぜ公園でボール遊びが禁止されるのか ——ボール使用者のマナー遵守と行政の運営管理に着目して——	○堂免隆浩（一橋大学） 大崎裕子（東京大学）

(備考)

- 印は登壇者を示します。[E] は英語による報告です。The [E] symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 会場内の無線 LAN は、eduroam を利用可能です。eduroam アカウントをお持ちでない方には、臨時アカウントを準備する予定です。

(変更履歴)

2019年2月8日 暫定版プログラム1

2019年2月12日 暫定版プログラム2